

大学院人間文化総合科学研究科（博士前期課程）

令和8年度4月入学試験問題

【 一 般 選 抜 】

【 外 国 人 留 学 生 特 別 選 抜 】

生活文化学専攻

〔 専 門 科 目 〕

試験日：令和8年1月31日(土)

注 意

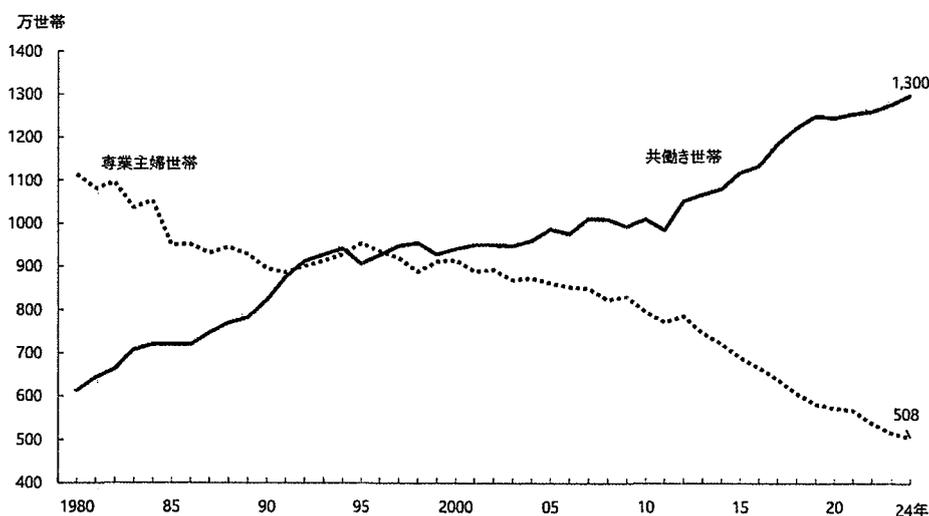
1. 試験科目は、受験票の志望研究領域の第1志望に記入した科目を選択すること。
選択にあたっては、別紙「志望専攻・コースごとの受験すべき試験科目について」
を参照すること。
2. 解答は、別添の解答用紙を使用すること。必要に応じて複数枚を使って構わない。
(2枚同封、3枚目以上は監督者に申し出ること。)
3. 使用する解答用紙のすべてに受験番号、氏名及び選択した試験科目名を記入
すること。
4. 総ページ数 — 4ページ（1ページ目は下書き用紙）

以下の **I** もしくは **II** から 1 題選択して解答しなさい。

※答案用紙の冒頭に、選択した問題番号（ **I** もしくは **II** ）を明記してください。

I

1. 以下は、1980 年～2024 年の専業主婦世帯と共働き世帯の数の推移について示したグラフです。この推移がなぜ生じたのかについて、「近代家族」、「主婦化」、「脱主婦化」、「高度経済成長期」の 4 つの語句を用いて、社会背景を説明しなさい。



資料出所 総務省統計局「労働力調査特別調査」、総務省統計局「労働力調査（詳細集計）」
 注1 「専業主婦世帯」は、夫が非農林業雇用者で妻が非就業者（非労働力人口及び完全失業者）の世帯。
 2018年以降は夫が非農林業雇用者で妻が非就業者（非労働力人口及び失業者）の世帯。
 注2 「共働き世帯」は、夫婦ともに非農林業雇用者の世帯。
 注3 2011年は岩手県、宮城県及び福島県を除く全国の結果。
 注4 2018年～2021年は2020年国勢調査基準のベンチマーク人口に基づく時系列接続用数値。

出典：労働政策研究・研修機構（2025）「図 12 専業主婦世帯と共働き世帯 1980 年～2024 年」
 (<https://www.jil.go.jp/kokunai/statistics/timeseries/html/g0212.html>)

2. 以下から 1 問選択して解答しなさい。

(1) ベティ・フリーダン (Betty Friedan) の『新しい女性の創造』(原題 *The Feminine Mystique*、1963 年) は、第二波フェミニズム運動のきっかけの一つとして、よく知られています。この著作の中で、フリーダンは女性たちの「名前のない問題」に焦点を当てました。この「名前のない問題」の中身を踏まえながら、第二波フェミニズム運動で新たに問題として提起された女性差別や女性抑圧の内容について説明しなさい。

(2) キャロル・ギリガン (Carol Gilligan) は『もうひとつの声で』(原題 *In a Different Voice*、1982 年) の中で、家庭などの私的な領域におけるケア (家事・育児・介護等) や、その責任が女性に偏ってきたことを「ケアの倫理」の観点から論じました。この「ケアの倫理」を受験者自身の問題関心に当てはめ、社会には具体的にどのようなケアのジェンダー不平等があるのか、事例を挙げながら論じなさい。

II

1. 1980年代以降、従来の西洋中心的・白人中心的なフェミニズムが見落としてきた植民地主義の歴史に目を向け、民族・人種・階級とジェンダーの交差性に注目するポストコロニアル・フェミニズムが展開しました。

(1) ポストコロニアルリズム理論の基礎を築いたとされる『オリエンタリズム』(原題 *Orientalism*、1978年)の著者は誰か答えなさい。

(2) 被植民者(サバルタン)の視点から抑圧の構造を批判したガヤトリ・スピヴァク(Gayatri Spivak)は、『サバルタンは語るができるか』(原題 *Can the Subaltern Speak? In Marxism and the Interpretation of Culture*、1988年)において、サバルタンが自らを語るができない理由をどのように説明したか書きなさい。

(3) スピヴァクのいうサバルタン、とりわけ女性の〈声〉が抑圧される事例を一つ挙げ、その抑圧がどのように正当化・再生産されているかを論じなさい。

2. イヴ・セジウィック(Eve Sedgwick)は『男同士の絆』(原題、*Between Men: English Literature and Male Homosocial Desire*、1985年)において「ホモソーシャル理論」を提唱し、男性同士の親密さと女性の抑圧との関係を明らかにするとともに、近代の家父長制における権力構造や欲望のあり方を分析しました。

(1) ホモソーシャル理論とは何か説明しなさい。

(2) ホモソーシャル理論を踏まえて、近代社会における男性同士の関係が女性や性的マイノリティの抑圧にどのように影響しているか、具体例を挙げながら論じなさい。

(3) ホモソーシャル理論を女性同士の関係に適用した場合、研究上どのような可能性と限界があるか論じなさい。

試験科目名：消費経済学

【問1】と【問2】の両方について解答しなさい。

【問1】

オルタナティブ・フードシステムとは何かを説明し、それが登場してきた背景、日本あるいは海外における具体的な事例、オルタナティブ・フードシステムを普及する上での課題について説明しなさい。

【問2】

以下の用語から2つ選択し、具体的な例を挙げながら用語の意味を説明しなさい。必要であれば図などを用いて説明してもかまいません。

- (1) 半商品
- (2) 逆選択
- (3) ロジャースの普及理論
- (4) 豊作貧乏